

NEWS & TOPICS

農業大学校便り

資格取得その1「小型車両系建設機械」



後期のテストが終わった翌週は資格取得ウィーク。その第1弾は2日間にわたって行われた「小型車両系建設機械」の講習。初日に講義が行われ、2日目は実技に移りました。夕方には実技試験が行われ、一人ひとりが緊張の面持ちで操作を進め、係の職員がその動作を丁寧にチェックしていました。

資格取得その2「農業機械士」

第2弾の「農業機械士」の講習は3日間行われました。この資格は、農業機械の運転操作や点検整備の研修を受け、併せて大型特殊の運転免許を有することで県から認定されます。講義の後、AEDの扱い方、トラクターの仕組みや動力噴霧器の扱い方など詳しく説明を受け、最後に筆記試験が行われました。



「卒業式」27名が旅立つ



校長から新たな社会人に熱いエール。



一人ひとりに証書が手渡されました。

2月25日に卒業式が行われ、それぞれが思い出を胸に27人が農業大学校から羽ばたきました。これからの道は当然異なりますが、和歌山県下から集い、2年間寝食を共にした生活は決して忘れられないでしょう。答辞を読み上げる別院君は言葉を詰まらせながら有意義な学生生活を振り返りました。



涙ながらに思い出を読み上げました。

新2年生、引越作業。



和歌山大学の卒業論文発表会を見学。



3月14日、観光学部地域再生学科の藤田・大浦ゼミの卒業発表会に農大生6人が参加。午前中は3年生の中間発表、午後は4年生による卒業発表が行われました。地域へ出向いて体験や調査(ヒヤリング)したことをまとめており、農大生の卒業作成に向けて刺激になったと思います。

シリーズ「今日のお昼ご飯」第18回



昼食をお迷いするこのコーナー、今回は3月3日の雛祭り。メインは酢かぼとよく効いたちらし寿司。そしてはまぐりのおすまし、副菜2品、さらにイチゴのショートケーキができました。女子学生が少ない本校ですが、今後増えてくれることを期待します。

ヤギの小屋作り。

果樹コース藤林君の卒業論文は「ヤギによる除草効果の研究(仮称)」です。5月になるとヤギが2匹お目見えするので、畜産試験場で飼育方法のアドバイスを受けました。また、資材の調達を行って、小屋の製作にかかりました。周辺の斜面に放牧しますが、果樹園でもその効果を検証する予定です。



第28号
平成23年
3月
発行
和歌山県
農業大学校

京奈和自動車道、工事進行中。

和歌山と京都を結ぶこの高速道路は橋本-五条間などで開通、また、平成27年に和歌山市まで開通させるため、紀ノ川北岸で工事が進んでいます。農大でも圃場の一部が道路にかかると、少なからず影響を受けています。現在、学校の真下を横断するように高架工事や周辺工事が進んでいます。



全国の農大生と交流、優良賞受賞！



2月22～24日に東京で開催された、全国農業大学生研究及び意見発表会には全国から400名の学生と職員が集まりました。

意見発表では12人が発表。1年生の森本淳子さんは「夢への第一歩」を発表。本人いわく「聴衆者を前に緊張もなく楽しんで発表することができた」とのこと。そして、全国の農大生と3日間寝食をともにしたことで、交流を深めることができました。



3回目ともなると慣れたもの。



野菜：ミニトマトの糖度の測定。早くも卒業論文の調査開始。



花き：暖かくなったので、キクの苗にアブラムシの防除。

3月18日に終業式を終えて春休みに入りましたが、農作物は休みません。学生は当番を決めてそれぞれの管理作業を行います。来年度も天候に影響されることなく、たくさん収穫できるように、準備を進めています。

春休みですが、「弥生」の実習風景



果樹：デコボン(登録商標)こと「不知火(しらぬい)」剪定。



果樹：カキ畑の草刈り。暖かくなると草に追われ、何度も行います。



専修学校

和歌山県農業大学校

〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降422
TEL 0736-22-2203 FAX 0736-22-7402
HPアドレス <http://www.ag-wakayama.ac.jp/>
メールアドレス wa_noudai@ag-wakayama.ac.jp